

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:20-5

担当部局・担当課名:厚生部 生活衛生課

事業名	動物管理センター運営等関連事業	評価結果	拡充
-----	-----------------	------	----

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・やや乱暴だが、整備計画作成の委員会やコンセプト等具体的な計画を作ることを、県庁内の合意を得ながら進めていくのが良いのでは。
- ・新設の場合、厚生センターの業務を統合し、費用負担を減らす方向で。県内8か所で捕獲を行うのは多い気がする。
- ・愛護の啓発は、継続して行う必要があるが、県境で差があっていいのかと言う気がする。隣県と合同で行うという考えも新しいのでは。
- ・良い活動を行っているのに勿体ない。アピールすべき。ペットを飼っている人も多く、今後役割は大きくなる。

【県民評価者の意見】

- ・野犬処理センターというイメージ。本当は施設の一新と言いたいが、公園にも人が多く、外観などイメージだけでも先に整備できないか。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

17

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (行政の管理不要)	役割分担 見直し (市町村又は国が実施)	抜本的改善 (施設はこのままで、 機能を大幅に見直す)	一部改善 (施設の名称のみ変更)	現行どおり ・拡充 【評価を細分類】 (現行どおり→【現行】、 施設整備必要→【拡充】)
	0	1	0	1	【現行】2、【拡充】13
県民評価者の主な評価シートコメント	【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の話聴いて、前向きなイメージに変化した。県民に開かれたセンターにし、愛護に手厚い県にしてほしい。 ・保護団体の方は、国や県の補助金を受けずに、ご自身の身銭を切って活動しておられると聞く。連携しながら、保護団体等への支援も充実して欲しい。 ・施設が老朽化する中、限られた人員で殺処分減少に大きな成果が上がっている。今後は、ハード面の更新を踏まえた計画の具体化が必要。 ・計画をはっきりし、準備を進める。 ・とても大切な事業。今後もニーズは高まると思われる。 ・施設は殺処分のイメージのまま、古く暗く感じる。施設の一新を早めに。 ・NPOとの連携等、それぞれの強みを生かして、より認知度を上げて欲しい。 ・もう少したたき台が具体でないとレビューできないのではないかと。早く計画を作るべき。 ・ぜひ、開かれたセンターにして欲しい。予算面はあるが、建て替えは必要。 				
	【役割分担見直し】 <ul style="list-style-type: none"> ・何かあったら、行政がすべて面倒を見るのはおかしい。できるなら民間が行う方がよい。 【一部改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・現施設の目的に合った、センターの名称変更を先にやればよいのでは。 【現行どおり】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の新設は本当に必要か。廃止した施設等、まだ使える施設を使用してはどうか。 				

事業名	動物管理センター運営等関連事業	評価結果	拡充
------------	-----------------	-------------	----

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (行政の管理不要)	役割分担 見直し (市町村又は国が実施)	抜本的改善 (施設はこのままで、 機能を大幅に見直す)	一部改善 (施設の名称のみ変更)	現行どおり ・拡充 【評価を細分類】 (現行どおり→【現行】、 施設整備必要→【拡充】)
	0	0	0	0	【現行】0、【拡充】4
委員の 主な コメント シート	<p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現施設の修繕、改良を行いつつ、数年後に動物愛護センターの新設整備に向けて、スケジュールを決めて具体的な計画づくりに着手すべき。 ・厚生センターの管理機能の集約を行い(東西1か所ずつ等)、愛護活動などは委託も視野に入れてはどうか。 ・新たに整備する必要がある。計画や、手法や、国への働きかけも含め拡充して頑張りたい。 ・今後、施設設備の拡充が必要と思う。 ・愛護事業やオンライン等の活用により、動物管理センターの活動を広く認知させていくことが大切。その活動を通じて、具体的に見える形になれば、施設をより良くすること等が実現できるのではないか。 				

県の対応

対応方針	拡充	事業内容拡充			
	<ul style="list-style-type: none"> ○動物管理センターあり方検討会の開催 ○動物愛護センターの整備に関する県民ニーズ調査の実施(2,000人) ○先進地視察の実施 				
R5当初予算 での対応	R5当初予算(案)	14, 559(千円)	R4当初予算	10, 956(千円)	増減額 +3, 603(千円)
	増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・あり方検討会、ニーズ調査、先進地視察にかかる経費として3, 800千円 ・運営経費節減のため▲197千円 			

事業名	動物管理センター運営等関連事業	評価結果	拡充
------------	-----------------	-------------	----

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	14,559(千円)	前年度予算額	10,956(千円)	
		事業の目的	県動物管理センターの運営、今後のあり方に係る調査・検討			
		事業内容	①県動物管理センターの運営 ②県動物管理センターあり方検討会の開催 学識経験者や獣医師会、動物愛護団体代表者等12名で構成する検討会を開催 ③県民ニーズ調査の実施など 県民(2,000人程度)を対象とした動物愛護センターの整備に関するニーズ調査など			
		積算内訳	①10,759千円 ②1,052千円 ③2,748千円			
		予算編成過程における議論	・レビューにおける意見を踏まえ、新たに、有識者も交えて動物管理センターのあり方を検討することとされている。 ・事業内容のうち県民ニーズ調査については、効果的な調査となるよう、「あり方検討会」などで調査項目について意見を伺った上で、実施すべきでないか。			
	最終的な予算案	予算額	14,559(千円)	/		
	要求時点からの変更点	変更なし				